

① 谷亮子
たにりょうこ

オリンピックに出場することはスポーツ選手の夢である。
そのオリンピックに連続五回出場した日本の柔道選手がいる。
彼女の名前は谷亮子。身長146cmの小さい体で、五回のオリンピックに出場し、五つのメダルを取った。



谷選手は小学二年生で柔道を始めた。始めた時、「体が小さいから人の三倍練習しなさい。」と先生に言われ、それを守って練習した。五ヶ月後、初めての試合で優勝したが、この時、大きい男の子を次々と投げ飛ばして、そのうち二人は病院に運ばれたという話である。

1990年に国際大会で優勝し、1992年、十六歳でバルセロナオリンピック代表に選ばれた。この時は決勝で勝てず、銀メダルを取ったが、彼女に笑顔はなかった。次のアトランタオリンピックでも決勝で負け、銀メダルの結果となった。2000年のシドニーオリンピックでは、「最高で金、最低でも金」と言って絶対に金メダルを取ることを皆に約束し、ついに金メダルを取った。2003年に結婚して、田村亮子から谷亮子に名前が変わったが、柔道を続けた。2004年のアテネオリンピックの時は「田村で金、谷でも金」という言葉と共に戦い、二つ目の金メダルを取った。2005年に子供を産んで、しばらく柔道を休んでいたが、2008年の北京オリンピックで復帰。「ママでも金」を目指したが、残念ながら、銅メダルに終わった。金メダルは取れなかたが、子育てをしながら一対一の厳しい勝負の世界で成長を続ける彼女の姿は、多くの日本人に感動を与えた。

オリンピック	the Olympics	出場する	to be in a competition	身長	height
優勝する	to win in a competition	投げ飛ばす	to throw out	大会	competition
代表	representative	産む	to give birth	北京	Beijing
目指す	to aim	姿	aspect	与える	to give